





(4,000 [])

実用新案登録願 (B)後記号なし

昭和 5 4 年 6 月 3 0 日

特許庁長官殿

1考案の名称

ユカメンセイソウキ 床面清揚機

2 考 案 者

住 所 大阪府門真市天学門真1006番地 松下電器産業株式会社內

14 1 担命性未体 シン・ヤ

氏 名 **ツツミ シン ヤ 堤 信 也**

3 実用新案登録出願人

住 所 大阪府門真市大字門真1006番地名 称 (582) 松下電器產業株式会社代表者 山 下 俊 彦

4代 理 人 〒540

THI.

状

任 所 大阪市東区谷町1丁目42番地ノ1天宮弁 エルフ大手前ビル616 と料理

5 添付書類の目録

(1) 明 細

(2) |以

(3) 委任

(4) 願書副本

1 通

1 通

通通

54 091605

9345

- 1. 考案の名称
- 床面清掃機
- 2. 実用新業登録請求の範囲
- 倉転自在の移動操作用ハンドルと、その途転機
- ・作に連動して向きを変えることができる車軸をも
- ・つ移動用車輪と、この移動用車輪により駆動され
- ・る吸塵部と、この吸塵部に連結された清掃機本体
- ・とを備えた床面滑揚機。
- 10 3. 考案の詳細な説明
- · この考案は床面清掃機に関するものである。
- 車輪で吸ഥ口と滑掃機本体を支えるようにし上
- ・ 方へ向って長柄状のハンドルを突出させた第1図
- ・および第2図に示す形式の従来の電気掃除機は、
- 15 清掃作業中に進行方向を変えるためには車輪 1 を
- ・中心としてハンドル2を大きく回動しなければな
- ・らず、大きな労力を要するうえそのために作業者
- ・自身も横に移動しなければならないという問題が
- ・あった。
- 20 したがって、この考案の目的は、この問題を解

· 決し進行方向を極めて容易に転換することができ · る床面滑掃機を提供することである。

この考案の一実施例を第3図および第4図に示 す。すなわち、この床面清掃機は、焓転自在の長 柄状の移動操作用ハンドル3と、その捻転操作に 連動して向きが変わる車軸4をもつ移動用車輪5 ・と、この移動用車輪5により駆動される吸車部6 ・と、この吸盧部6に連結された滑揚機本体7とを ・備えたもので、移動操作用ハンドル3を操作して ∞ この床面清掃機を押し進めながら吸鼻部6の下部 ・の床用吸込口8に設けたブラシ9で描きよせられど ・る塵埃を滑揚機本体7の集塵袋内に収納するより ・にしている。そしてこの移動操作用ハンドル3は ・その下端に屈曲レパー10を取付けるとともにそ 15 の両分肢端からロッド11,リンク12を介して T字型の車軸4と連結し、移動操作用ハンドル3 ・をたとえば第4図のように時計方向に捻転したと きに車軸4が同じく時計方向に回動するようにし ・ている。

なお、この移動操作用ハンドル3は清播機本体 (2) · 7の上下部分に軸受型の取付金具13で回動(捻 · 転)自在に固定されている。

はお、この考案は吸塵部6と清掃機本体7とを ・ホース等で連結した他の形式の清掃機にも適用す ・ることができる。

· 以上のように、この考案の床面滑橋機は、捻転 ・自在の移動操作用ハンドルと、その捻転操作に連 20 動して向きを変えることができる車軸をもつ移動 THE DISTRICT OF THE PERSON OF

- ・用車輪と、この移動用車輪により駆動される吸車・都と、この吸塵部に連結された清掃機本体とを備・えたため、進行方向を極めて容易に転換できると
 - 4. 図面の簡単な説明

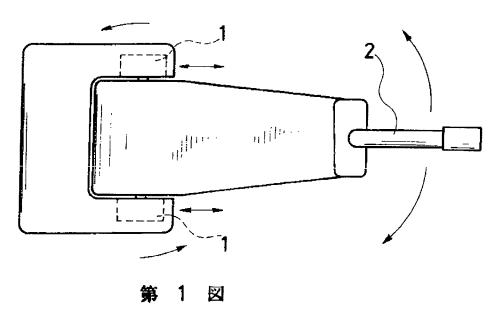
・いう効果がある。

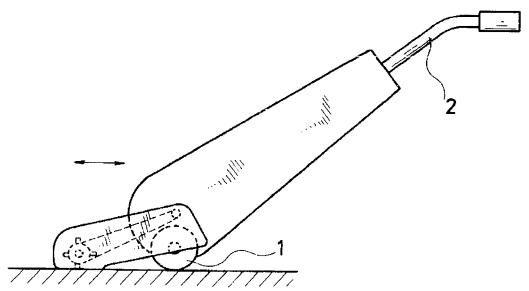
- 第1図は従来の床面清掃機の一例を示す概略平面図、第2図はその側面図、第3図はこの考案の・一実施例の側面図、第4図はその下面図である。
 3 …移動操作用ハンドル、4 …車軸、5 …移動
- · 用車輪、 6 ··· 吸塵部、 7 ··· 清掃機本体

代 理 人 弁理士 官 井 暎 爿

20

15

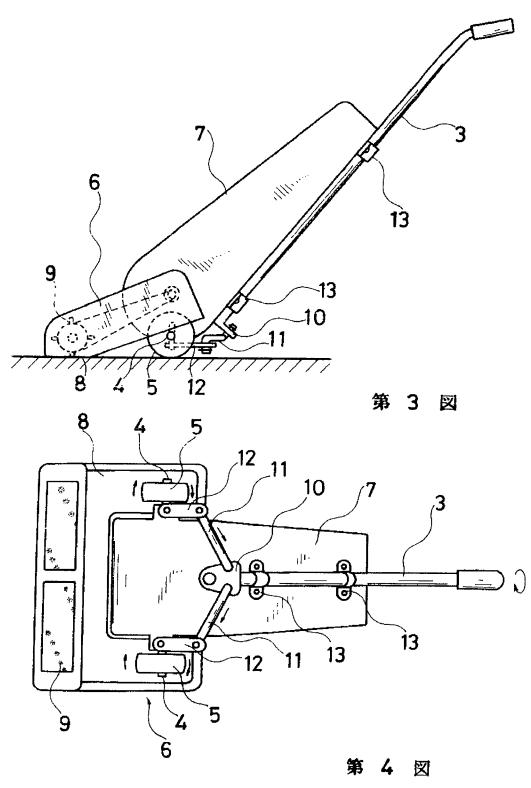




第 2 図

9345/2

弁理士 宮井 **英夫** SJ 54-121 1/2



2345/

弁理士 宮 井 暎 夫 SJ 54 -121 ⅔